



# 学校だより

平成26年度  
第1号  
皆与志養護学校  
平成26年7月11日発行

## 学校の変容を地域へ発信する 校長 斎藤 佳代子

今年度は児童生徒26人でスタートしましたが、保護者や関係機関の皆様の協力のもとで、一学期を無事終了できることに感謝しております。ありがとうございます。

さて、皆与志養護学校は2度目の赴任でしたが、その間に年々児童生徒数が減少していることが課題の一つとなっていました。この課題の直接の解決策ではありませんが、「地域に信頼される学校」と題して本校職員全員から出してもらった改善点の中に糸口になるものが見えてきました。

その改善点としては、「① 特別支援学校として、地域へ学校の情報を発信し、学校を知ってもらう」、「② 特別支援教育の専門性、特に肢体不自由教育の専門性を更に発揮し、『肢体不自由教育は皆与志養護学校』と言ってもらえるようになる」の2点です。

①については、「管理職が関係機関へ啓発訪問を行い、学習発表会などの行事を紹介するとともに、学校見学会など本校就学に関しての連携を密に図るようにする。」②については、「本校は自立活動を主とした教育課程対象の児童生徒がほとんどであることから、やまびこ医療福祉センターとの連携による自立活動などの研修会と情報交換を充実させて児童生徒の支援に生かすようにする。そして、その成果は、本校主催の夏季休業中の実践研修会などで肢体不自由教育の専門性として、地域へ提供・発信するようにする。」という対策を早速としています。これらはこれまでの取組の再提案になりますが、「地域に信頼される学校」に視点を置いた取組にすると、職員の意識が変容し学校も変容するであろうと考えます。そして、この変容が児童生徒増へつながってほしいと期待しているところです。

## 入学式

第36回入学式を4月8日(火)に行いました。今年度は、中学部の生徒5人を新入生として迎え入れました。式には全員元気に参加することができ、新入生紹介では、声を出したり、笑顔になったりして応えていました。



## 春のなかよし遠足

6月4日(水)～6日(金)、A班は市立科学館へ、B班はメルヘン館へ出掛けました。どちらの班も、いろいろなものを見たり、触れたりしながら様々な経験をすることができました。また、移動のバスの揺れや振動を喜ぶ児童生徒も多く、遠足全体を通して楽しく過ごすことができました。児童生徒の好奇心あふれる表情がいっぱいの楽しい遠足となりました。



## 芸術鑑賞会～器楽「音楽の旅」～

6月10日(火)に芸術鑑賞会がありました。今年度は鹿兒島交響楽団の方々方が16人来校され、「音楽の旅」というテーマでクラシックからアニメソングまで馴染みのある楽曲全12曲の演奏がありました。児童生徒は、間近で感じる生の音楽に笑顔になったり、手拍子や体を揺らしてリズムをとったり、楽器を鳴らして合奏に参加したりと、それぞれが音楽に浸った1時間でした。



## 大運動会

5月24日(土)、「やる気 マンマン パワー ぜんかい 力を合わせて ゴーゴーゴー！」のスローガンの下、第36回大運動会を開催しました。応援団長を筆頭に熱の入った応援合戦からスタートし、得意なことやできるようになったことをクリアしていくグループ種目では、赤白互いに譲らず金メダル(目標達成)が続出しました。結果は赤組の優勝でしたが、勝ち負けにかかわらず、児童生徒はもてる力を発揮し、笑顔輝く最高のパフォーマンスを披露できたと思います。たくさんの温かい御声援と御協力をありがとうございました。



## プール開き

6月13日(金)、プール開きが行われました。児童生徒は、シャワー音に耳をすましたり、模範泳でのダイナミックな動きと水音に大興奮したり、ボート遊びで「もう1回」とアピールしたりなど、いろいろな表情を見せながら過ごしていました。児童生徒代表のことばで元番さんが「プールが大好き」と述べたように、児童生徒にとって楽しみで大好きな学習が安全にできるよう取り組んでいきたいと思っています。

